

知床五湖の利用のあり方協議会（第13回）議事概要

1. 日時：平成22年9月16日（木） 17：30～21：30

2. 場所：知床世界遺産センター レクチャールーム

3. 出席者：

しれとこフォーラム21 小川・吉川

ウトロ地域協議会 松本

知床ガイド協議会 鈴木・山本・関口

ウトロ自治会 梅沢

斜里バス 下山・菅原

知床温泉旅館協同組合 佐々木

知床エコツーリズム推進協議会 高木・松田・上野

知床斜里観光協会 青木

環境省 則久・野川・ニ戸・中村

北海道 大宮・石川

斜里町 百々・岡田

知床財団 寺山・近藤

オブザーバー 若月

※順不同、敬称略

4. 配布資料：

資料1 立入認定手数料の試算について

資料2 知床五湖の利用のあり方協議会設置要領（案）

資料3 引率者審査部会設置要領（案）

資料4-1 知床五湖利用調整地区における指定認定機関の公募について

資料4-2 指定認定機関実施事務詳細

資料5 知床五湖フィールドハウス展示について

参考資料1 知床五湖フィールドハウス運営業務の検討（第12回協議会資料一部抜粋）

5. 議事概要：

【開会挨拶】 環境省釧路自然環境事務所 則久次長

【手数料について】

環境省：資料1の説明

環境省：手数料減額とのご意見をいただいている。均等に減額するよりも子供に集約するというのを考えてみた。通常、立入認定の事務手数料に子供料金の設定はないが調整してみた。すべての利用者を200円にするのは難しいが、子供だけでも200円とする案を提示させていただきたい。

ウトロ地域協議会：子供にもいろいろあるが何才から何才まで子供なのか？

環境省：調整の結果、0才児から立入認定は必要とのことである。故に0才から12才が子供と考える。

環境省：小さい子供を連れて利用する方は、木道へ行くのではないかと想定している。

知床温泉旅館協同組合：以前から手数料については100円、200円にしてほしいと伝えてきた。認定事務作業を手数料のみでまかなわなければいけないという根拠、たとえば法令等があるのか？

環境省：そうである。法令で手数料収入は実費で取らなければいけないと書いてある。

知床温泉旅館協同組合：国の金が入ってはいけない法令があるのか？

環境省：入ってはいけないとは書いてはいないが、手数料は実費を換算して算出することになっている。施設管理とは異なり許認可手続きの代行となるため、赤字部分を行政が負担するというにはなっていない。レクチャー部分などほかの部分は環境省が負担する形になっており、どうしても法律上最低限の事務手数料の部分をお願いするのは、ご理解いただきたい。

知床温泉旅館協同組合：拡大的な解釈として、本部スタッフなども負担することはできないのか？

環境省：認定事務にかかるスタッフを環境省から派遣できないかという質問かと思うが、認定事務を指定認定機関に任せただけの場合は、環境省が行うことはできない。レクチャーの部分は、認定事務とは違うという解釈で切り離して計算しており、できる限りの負担をしている。どうしてもこれぐらいのコストがかかってしまう。

知床斜里町観光協会：赤字が出た場合には民間が責任を負い、環境省、北海道、斜里町、観光協会などで負担はできないのか？

環境省：環境省が公金を入れるという仕組みはむずかしい。認定証を持っている方が違う形で何らかのサービスを受けられるということはあるかもしれないが、補填を当てにして単価を下げるということは残念ながらできない。

知床斜里町観光協会：スタッフの派遣などはできないのか？

環境省：レクチャー要員に関しては別業務として環境省が負担する形をとっている。ただ

し、指定認定機関を受けた業者へ随意契約は残念ながらできない。

知床斜里町観光協会：西大台はどうなっているのか？

環境省：西大台では地元森林組合が認定事務を請けたが採算が合わず辞退された。その後環境省が直営することとなったが、環境省直営では数日前から申請を行わなければならず、みかねた地元商工会が現在は認定事務を行っている。

知床斜里町観光協会：請けるものがいなければどうするか？

環境省：一度来なくても再募集をするが、何度募集しても応募がこなければ環境省がやるしかない。そうなれば認定権限を最も下ろしても主席自然保護官レベルが必要である。その場合手続きが煩雑になるため、できる限り地元で請けてほしいと考えている。

知床斜里町観光協会：新しい制度であり、新しい社会のインフラであることから行政の責任が大きいと考える。民間計算で赤字を出さないようにと考えてもあまり説得力がない。民間は経済的に厳しい、故に観光業界では400円は賛同しかねる。行政に責任を果たしてほしい。3年計画で200円にし、皆で補填するのはどうか？

環境省：利用が減少しないように高架式木道を設置した。ヒグマの生息地という関係からも、地上歩道をそのまま安定的に利用すること難しいだろうと考える。高架木道をアピールし、五湖は安定的に利用できるということをアピールしたい。地上歩道はヒグマがいる時期は安全担保としてガイドに引率してもらうことになる。そこは負担してほしいと考える。

しれとこフォーラム 21：一番最初には有料になるという話は聞いていなかった。金額次第で利用が変わる。地上歩道を特別な地域にするという感覚はない。利用者が多いので減らす、ヒグマ問題の安全性を考えるとということそれは理解する。しかし料金が発生するとは聞いていない。

斜里町：議事録を見ていただければわかるが、いろんな法制度の選択肢があった。

利用調整地区になると決まった時点で、手数料が発生するという話はさせていただいた。

しれとこフォーラム 21：金額による。最初から400円とわかっていたら話は違っていただかもしれない。私達はあくまで200円が限度だと考える。

斜里町：金額については協議会で話し合っただけで皆で納得する料金で決めるという話ではなかった。必要な体制を考えて、かかる費用から算出するという話であった。

しれとこフォーラム 21：それは覚えていない。

しれとこフォーラム 21：行政側からの情報が小出しである。一般市民は勉強しても情報が足りない。公平な情報を出してもらいたい。

斜里町：情報を小出しにするつもりは事務局側には全くない。議事録を見ればわかるが、指定認定機関についても説明はしている。金額については、法律上当初上限1000円、後に法制度が変わり上限2000円という話をしてきた。そして利用者数が多いため上限にはいかないだろうという話もしていた。

知床ガイド協議会：一年前から金額の話をしてきたのは記憶している。私としては1000円

が 400 円まで下がったという感覚がある。

環境省：どういう制度にするかという話を第 3 回にて話をさせていただいたが、行政から利用調整地区がいいのではないかと提案はさせていただいた。

しれとこフォーラム 21：ヒグマへの安全性や、植生保護の観点から利用調整地区にするということは理解するが、地上歩道は特別な場所と言う認識はない。

環境省：それは地上歩道の魅力をアピールするため、そういう表現になってきたのだと考えている。基本的にはヒグマの安全対策と植生保護の観点からだが、制限ではなく魅力としてアピールするために表現が変化してきた。

しれとこフォーラム 21：3 万人というのは一日 200 人ぐらいを想定しているのか？

環境省：植生保護期を平均して一日 300 人ぐらいであると計算した。

しれとこフォーラム 21：ヒグマの安全性や植生の保護という当初の観点からはずいぶん変わってくるのでは？

環境省：制限がかかるというイメージではなく特別な場所であるというイメージを得るためにそういう表現になっているのだと考える。みなに利用してもらいたいと考えている。

知床温泉旅館協同組合：みなに利用してもらうには 200 円が妥当と考える。知床はお金がかかると思われるのは避けたい。地上歩道の魅力を高めるのはいいと思うが、駐車場と二段階でとられるのは厳しいと考えている。私は閉鎖する前に近い状態を確保できないかと考えている。

ウトロ自治会：これらの意見は観光に従事するものの不安だと思う。カムイワッカのマイカー規制のときも不安に思った。実際にカムイワッカの利用者は減少した。知床五湖も同じことになるのではないかと危惧している。このままでは観光客が行くところなくなるのではないか。

斜里町：今回の新しい仕組みの導入はカムイワッカも行けない、五湖も行けないという状況をつくらないようにするために考えている。持続的に安定的に利用できるようにするためにこの案を提案し、皆さんと考えてきた。このままでは五湖が使えないという状況になってしまうのではないかと考える。それをご理解いただきたい。

ウトロ自治会：それが理解できないのではないかと？

環境省：システムというよりも手数料が 400 円というのが問題なのではないだろうか。皆さんの不安部分を我々は考えなければならないと思っている。五湖全体が有料になるわけではなく、無料の高架木道をアピールしていきたい。地元の方々の思いはわかるが、五湖がさらに魅力的に変わると皆さんに考えていただきたいと強く考えている。

しれとこフォーラム 21：五湖は森の中を歩くというものである。高架木道では代替にはならないだろう。地上歩道をできる限り多くの方が利用できる状態を残す必要がある。

斜里バス：システムについて旅行業界に意見は求めたのだろうか？

環境省：JATA 本部に一度説明はしている。10 月の招聘もそこを考えてのことである。

斜里バス：旅行業界が利用すると言っているのであれば理解できるが、そうでないのであ

れば今後決めてもいいのではないかと？意見を踏まえてから決めてもいいのでは？

環境省：料金に関してはそろそろ決めなければいけない時期であると考え。団体でこられる方たちには当初予約枠はなかったが、それらの方々にも使いやすくするために予約枠を設けた。

斜里バス：例えば団体ツアーはもっと前から予約を取れなければ、企画が成り立たない。もっと使いやすさを高め、人数を決めてから金額を決めるべきではないか？

環境省：10日以上前に予約枠を設けると直前キャンセルがでるのではないだろうか？

斜里バス：ルールを決めればいいのでは？

環境省：予約システムはあくまで案として提示している状態であり、使いやすいシステムの構築に関しては今から皆で検討したいと考えている。

しれとこフォーラム 21：環境省で向いている方向は理解できる。しかしお客さんが来なくなったら困る。200円で始めて我々を安心させてから400円にすればいいのではないかと？

環境省：前向きにアピールをしなければ、全体的にマイナスイメージになってしまうことを危惧している。

知床斜里町観光協会：400円になっても利用客が減少しなければよい。それを確約してほしい。

環境省：ベストを尽くすしかないとは思いますが、こちらとしては確約できない。減らさないために皆さんと考えながらやって行きたいと考えている。

知床エコツーリズム推進協議会：旅行者の消費単価が落ちている。そういう流れの中で、知床に金がかかるといったイメージは問題があると考えている。利用者の95%の人がいい制度だと言っても、5%の人が駄目だと言えれば我々には大きな損害である。

しれとこフォーラム 21：手数料が安いにこしたことはないと思うが、客観的に見てみると二つの感覚がある。五湖を有料で利用することに抵抗感がない方たち、そして自然と低料金で付き合いたい人たちがいることも確かである。前者を残し、後者を排除する五湖にするのか、それを考えなければならない。皆大きな不安を抱えている。ここですべて決まってしまうのだから。だからこそ200円で始めて、どうなるのか見極めたいと考える。

しれとこフォーラム 21：行政が内部的な経費削減を努力して数値化しているのは理解している。出せる人が手数料に上乗せして寄付できるようなシステムなどを考えるのはどうか？

斜里バス：利用者をもっと多く想定するために団体を入れる努力はしないのだろうか？

環境省：皆さんのアイデアを出し合い利用人数を多くしたいとは考えている。

知床財団：団体バスの何人が今後来るのかということが重要である。ガイドを付けて来られているのが、ざっと10%であると考え。そのあたりを20%にするという意見が具体的にあればぜひ話したい。

斜里バス：行政が想像で決めた人数では困る。ちゃんとヒアリングするべきなのではない

か？

しれとこフォーラム 21：地上歩道をもっとアピールする必要があるのでは？

知床財団：おっしゃるとおりである。

知床エコツーリズム推進協議会：ルートの再設定が必要なのではないかと？

ヒグマ活動期のルールも検討の余地はあると考える。

環境省：指定認定機関を公募するに当たり、民間団体が応募できるか判断材料を示さなければならぬ。そのためにはある程度の予想が必要になるだろう。

知床温泉旅館協同組合：利用人数を増やしても、今度は駐車場にすら入れないということになる。そうすると駐車場の問題も重要になってくる。

環境省：アクセスに関してはまた別な機会でも議論したいと考えている。

知床ガイド協議会：結論として利用人数を増やさなければいけないということか？ガイドの立場からいえば、金額云々より何か事故があれば知床は終わってしまう。そのため指定認定機関のレベルが重要である。

環境省：金額を減らすためには総経費の削減、利用人数の増加が必要である。総経費に関しては日没にあわせて減らすなどの措置をとってきた。さらに半額には満たないが、閑散期には人工費を減らせるかもしれない。

知床ガイド協議会：団体対応のもっと効率のよいシステムを構築できればいいわけで検討事項はまだまだあると思う。このシステムは確実にこれまでより時間はかかる。それを利用してさらに一泊してもらうなどの考え方もできるのでは？

知床ガイド協議会：人件費を削減するのであれば、各ホテルでレクチャーする、もしくはどこかから補填するとか考えなければいつまでもこの話は平行線をたどるだけである。これと決めてみんなで腹くくらんと駄目であろう。

環境省：レクチャーの経費は手数料には入らないことはお伝えしたと思う。指定認定機関を募集して、赤字が出たら補填するということはむずかしい。利用者数の想定は初年度3万と仮定したが、実際3万も怪しいかもしれない。6万、4万は確実に無理だろうと考える。そのためとりあえず3万で想定している。

しれとこフォーラム 21：スポンサーをつける、というのはいかがだろうか？

知床ガイド協議会：法律的にできるのであればそれはよいと思うが。

しれとこフォーラム 21：イメージ戦略として賛同する企業もあるのでは？

知床エコツーリズム推進協議会：利用調整地区制度自体に不備があるのではないかと？

環境省：利用者が多くないとまわらないのは確かに矛盾があるが、認定事務に関してのみなので基本的には織り込み済みだと考える。今後問題が見つかるかもしれないが。

知床エコツーリズム推進協議会：利用調整地区制度はオーバーユースに関する法律である。観光客に自然を大切にしようという意識を持ってもらうことを我々はやりたいと考えている。しかし利用調整地区制度は人を入れないための法律であり、すこし趣旨が違ふのかもしれない。

しれとこフォーラム 21：指定認定機関に受け入れてもらうためには 400 円ということはわかる。地元はしかし 200 円以上はまずいと考える。だからこそ負担は 200 円で、ほかの部分で 200 円稼いで指定認定機関は納得するなどはないのだろうか？

環境省：半券を持っていくと安くなるサービスを受けられるというのも勝手にではあるが考えたこともある。いかがだろうか？

しれとこフォーラム 21：スポンサーがつくのがいいと思うのだが？

知床斜里町観光協会：手数料を安くする分、地元が負担するのは賛同しかねる。

しれとこフォーラム 21：地域がどう受け入れるかによると思う。いろいろ考えられるし、それがだめならまた何も進まない。

しれとこフォーラム 21：受け入れられない。

環境省：できれば今回決めたいと考えている。JATA の招聘、旅行博までに決まっていたいと考える。

しれとこフォーラム 21：地元が 400 円に同意できない場合、行政側が強引に 400 円にすることはできるのか？

環境省：システム的にはできるが、それはできればやりたくないと考えている。

しれとこフォーラム 21：すべての状況、環境省直営がどれぐらい不便かなど判断材料としてすべて出してほしい。

環境省：金額が一番大きな話だが一回話を変えて、もう一度手数料の話をしたと思うがよろしいか？

【協議会設置要領について】

環境省：資料 2、3 の説明

環境省：審査部会について登録新卒者の代表残り 2 名は投票で決めることとなり 本日 17 時に決定した。協議会委員からは梅沢会長、青木専務。登録引率者からは引率最多回数の鈴木さんと、投票にて決定した松田さん、若槻さん。これら方を事務局側からの提案とさせていただきたい。

環境省：よろしければ設置を進めていきたい。いかがだろうか？

知床ガイド協議会：審査部会の件で構成員の中に知床エコツーリズム推進協議会と知床ガイド協議会を入れていただきたい。ガイドを育てていく上で一定のレベルを確保するために入れたいと考える。

環境省：エコツアー協議会はどう考えるか？

知床エコツーリズム推進協議会：人数はなぜこの人数なのか？

環境省：あまり構成員が多いと部会を開催するのに時間がかかるためである。

多少増えても全く問題はないと考える。

しれとこフォーラム 21：商業目的であるガイド個人が入るのは少し納得できない。

環境省：それは実際にルールを決める上で、実際に経験を持つ方たちの意見がほしいので

入っていただいた。公平性を保つためウトロ自治会、観光協会などに入っていただいた。
しれとこフォーラム 21：ヒグマ対応者に関しては知床財団と限定しないほうがよいと思う
が。

環境省：五湖の状況を知っている。現状を知っているという意味で知床財団が適任かと考
えた。他に適任がいるならば検討したいと思う。

環境省：若槻さんは意見がありますか？

若槻：引率者の代表の選出については、今回は財団に手伝ってもらって決めた。次回から
は仕切り直しをしたいとは考えている。

環境省：ガイド協議会からは山本会長に入っていただくとして、エコツーリズム推進協議
会はどなたを選出されますか？

知床エコツーリズム推進協議会：喜来社長を推薦したいが 基本代理は認められないだろ
うか？

環境省：認められないだろう。

環境省：エコツーリズム推進協議会がガイド協議会に任せるというのもあると考えるがい
かがだろうか？

知床財団：現場に出ている人間の協議の場になると考えている。

知床エコツーリズム推進協議会：喜来さんでいいと思う。

環境省：了解しました。

環境省：構成員確認

環境省：協議会の会長は釧路環境事務所所長でよろしいか？

一同了承

環境省：協議会および部会の設置に関してご了承いただけますでしょうか？

環境省：現在は部会で決定したものは協議会で決めたものとするという文言があるが 今
回は立ち上げ段階なのでその文言をはずしてもいいとも考えるがいかがだろうか？

一同沈黙

環境省：それではとりあえず立ち上げてその内容を協議会で報告するというのでよろしい
か。

一同承諾

【五湖フィールドハウスの展示について】

環境省：資料 5 の説明

しれとこフォーラム 21：浄化槽はなぜわかるのか？

環境省：環境省が必要とする以上の浄化槽を設置できない。国のお金としてご容赦をいた
だきたい。

知床エコツーリズム推進協議会：もともとヒグマがいるところでヒグマ出没という言葉は
適切でない目撃など言葉を考えるべき

環境省：中身は今後検討していくので、反映させていただく。レイアウト等は如何だろうか？

知床温泉旅館協同組合：駐車場は減るのか？

環境省：減少はしない。浄化槽の上に駐車は可能である。

知床温泉館協同組合：既存の浄化槽はどうなるのか？

北海道：撤去することになる。跡地は特に利用予定はないので駐車も出来るだろう。

しれとこフォーラム 21：ヒグマの目撃上報をリアルタイムで示すものはないのか？

環境省：設置する予定だが今回提示にいたらなかった。ホワイトボードに書き込むようなものを考えている。

知床エコツーリズム推進協議会：屋外に認定手続きについての説明はないのか？

環境省：少しはあるが考えていなかった。

知床エコツーリズム推進協議会：混雑しないようにするためにも必要だろう。

知床ガイド協議会：かかる時間も含めて出すべきだろう。

知床財団：注意事項が入り口にあるのも動線を阻害するのでは？

知床ガイド協議会：高架式にピクトグラムをつけるとの話だが、左側通行などの表記はしないのだろうか？

環境省：出来る限り左通行してくださいというものは設置できると考える。

環境省：来週火曜日までに意見をウトロ事務所までにいただきたい。意見を反映します。

【指定認定機関について】

環境省：資料 4-1、4-2 の説明

環境省：決めるのが遅くなればなるだけ、旅行会社の利用が出来なくなると考える。11 月までに決めたいと考えていた。観光協会さんはどう考えるか？

知床斜里町観光協会：早く決めたほうがいいとは思いますが 400 円は賛同できない。

知床温泉旅館協同組合：料金 200 円については広く利用してもらいたいためである。期間によって金額を変えられないのか？ルートによっては地上歩道は 30 分程度であるのだから。ヒグマ活動期のみ利用調整制度期間に出来ないのか？

環境省：10 月 20 日までの期間は変えられない。それにヒグマ活動期のみにしてしまうと金額が高くなりすぎてしまう。植生保護期、ヒグマ活動期、で料金を分けると前者 200 円強、ヒグマ活動期は 1000 円以上となってしまう。

しれとこフォーラム 21：ヒグマ活動期は本当に特別である。ヒグマ活動期で負担するべきでは？

しれとこフォーラム 21：理解しやすい立場の人たちではあるだろう。

環境省：それではその試算もしてすぐにもう一度協議の場を設けさせていただくことになるかと考える。

斜里バス：資料の団体ツアーに対応可能という文言が消えているがどういうことか？

環境省：意図的ではなかった。修正します。

環境省：時期で料金を分けることが皆さんの考えですか？

一同：そうである。

しれとこフォーラム 21：一度認定を受けてからもう一度入ることは可能か？

環境省：同日中ならば利用調整地区制度要綱を修正すれば可能である。

しれとこフォーラム 21：ヒグマ活動期に事故が起きたらどうする？

環境省：今のほうが危険は高い。そのリスクを減らすためにもこの制度を設定しようとしている。

しれとこフォーラム 21：ヒグマ活動期に事故が起こった場合誰が責任とるのか？

環境省：初めての制度なので、責任の所在がどうなるかは今の時点では明言できない。

知床斜里町観光協会：ヒグマ活動期の引率者についての割引的なものはあるのか？

環境省：考える必要はあると考える。

環境省：五湖フィールドハウスは10月中旬をめぐりに工事を始めさせていただきたいと考えている。

【閉会】